

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	介護人材の確保・定着
-------------	------------

現状と課題

「地域包括ケアシステム」を構築していく必要があり、その担い手となる「介護・福祉人材の育成・確保」が喫緊の課題となっている。長崎県による試算では2015年から2025年までの10年間に、305人の介護人材が不足することが予測されている。

市内においては、介護職員を毎年定期的に採用している介護事業者は少数にとどまり、退職者を補充する必要がある場合に採用してきた経過がある。今後は、全業種的に人材が不足し、他業種との競合や介護職に対するネガティブなイメージもあり、介護人材確保が困難になるものと思われる。大学卒及び第2新卒のような若年層の確保が困難になれば、将来に渡る継続的な介護サービス提供にも影響をおよぼしかねない。

人材確保・定着のため、新規雇用やキャリア形成を明確化した、介護事業所における魅力ある労働環境づくりの支援が必要となっている。

第8期における具体的な取組

平戸市独自の施策として平成30年度から、満25歳以下の方が介護職として市内事業所へ就職した方等を対象に、賞賜金を交付する事業に取り組んでいる。令和4年度からは対象年齢を引き上げ、満50歳以下の方（条件等あり）としている。また、新規雇用で賞賜金の交付を受けた方が、3年間同一の介護事業所で勤務した場合に継続雇用として10万円を交付している。平戸市内の介護職の確保及びキャリア形成による定着を推進する事業を実施している。

目標（事業内容、指標等）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
雇用者数（人）	6	7	8

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法

平戸市介護保険事業計画等策定委員会での評価（毎年）

取組と目標に対する自己評価シート

年度	令和4年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策

後期（実績評価）

実施内容
<ul style="list-style-type: none">・市内の介護サービス事業所に介護職の正規職員として雇用された、満25歳以下の方に就職準備金5万円を交付（10人）・上記の方で、介護職員初任者研修資格取得の場合は、5万円を追加交付（2人）・就職準備金5万円の交付を受けた方で、同一の介護サービス事業者に介護職として引き続き3年間勤務した方に10万円を交付（5人）
自己評価結果
【◎】 介護事業所にとって、就職準備金、さらに初任研取得者に加算交付があることは、介護職員募集の折の条件の一つとして提示することができるため、高評価を得ている。また、激励の意を込めて、市長から賞賜金を手渡し交付することにより、意識高揚を図れた。
課題と対応策
就職された正規職員が定着することが重要である。県内では、独自の取り組みとなり、事業所・従業員からも好評を得ており、今後も事業を推進することで、介護職の長期定着につなげていきたい。